

ニュージーランド キウイフルーツが記録的な収穫量

[FreshPlaza 2024年6月6日](#)

2024年のキウイフルーツの収穫は大成功で、ニュージーランド史上最大となった。これまでに史上最高の1億9,300万箱が出荷され、今後果樹園から収穫される量はごくわずかである。平均して、各箱には約30個のキウイフルーツが入っている。

このキウイフルーツの記録は、多くの果樹園で収穫前と収穫中の理想的な天候が功を奏したことが一つの要因である。それに十分な労働力が加わったことで、キウイフルーツは過去3カ月間、整然と収穫された。2024年の収穫は、平均以下で生産者を失望させた2023年の乏しい収穫量とは対照的である。昨年は、受粉不良、風害、洪水、降雹及びサイクロンにより収穫量が減少し、輸出量はわずか1億3,300万箱であった。

生産者は、今後数カ月にわたって海外市場に向かう今年の大量の果実の品質が維持され、良い価格が達成されるよう、注意深く見守ることとなる。

ニュージーランド・キウイフルーツ生産者協会(NZKGI)のコリン・ボンドCEOは、収穫期の成功は、味の良いキウイフルーツを消費者に届けるサプライチェーン全体の優れたチームワークの結果であるとして、「何千人もの収穫労働者や梱包作業員、そしてこの一年、我々の業界のために袖をまくり上げて懸命に働いてくれた数え切れないほどの労働者に感謝したい。彼らの労働の成果は、我々の成功から利益を得るより広い関係業界にも波及効果をもたらす」と述べた。

生産者らは今、(販売事業者である)ゼスプリが海外市場で獲得する果実の価格に注目している。過去2年間は1箱当たりの収益は好調であったが、収量の低さが生産者を経済的に苦しめた。果樹園の収量の低さとコストの上昇が相まって、多くの生産者が事業を継続するのに苦労している。

海外市場に向かうキウイフルーツの品質は、NZKGIが追跡する。業界は果実の品質問題を解決するために協力してきたが、かなり解決されたはずだという期待は今年末には目に見える形になるであろう。

2024年の1億9,300万箱以上の記録的な出荷量に次ぐのは、2021年の1億8,400万箱と2022年の1億7,500万箱である。ニュージーランドの供給量は、2028年までに2億800万箱に増加すると予測されている。

(関連記事)ゼスプリ 昨年度の世界のキウイ販売に光と影

[RURAL NEWS 2024年6月4日](#)

光と影があるが状況はそれほど悪くない。これは、ゼスプリの2023-24年度の最終結果に対する1つの説明の仕方である。

ゼスプリの世界でのキウイフルーツ年間販売額(北半球産を含む)は、天候等の課題にもかかわらず、シーズンを通して品質が向上し堅調な価格を確保したことを反映して、前年比2%増の39億9千万NZドルとなった。キウイフルーツの実際の販売箱数が、前シーズンの1億8,350万箱から10.5%減の1億6,420万箱となったことを考えると、この結果は良好である。ゼスプリの税引き後純利益は1億7,330万NZドルで、2022/23年度の2億3,870万NZドルから減少したが、これは主にライセンス収入の減少によるという。(1NZドル=約96円)

生産者の収益では、ゼスプリグリーン、ゼスプリグリーン14、サンゴールドが最も好調で、1ヘクタール当たりの収益は前シーズンを上回った。他方、有機グリーンと有機サンゴールドでは下落した。ゼスプリルビーレッドは、前シーズンとほぼ同じであった。

ゼスプリのダン・マシソンCEOは、この結果は、ゼスプリ・キウイフルーツに対する消費者の強い需要とともに、果実の品質を向上させるための業界の取り組みを反映しており、これは心強いことだと述べている。

執筆者 ピーター・バーク